



Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム
派遣（ドミニカ共和国）の記録
テーマ：環境保全

1. プログラム概要

【目的】日本の大学生・大学院生がドミニカ共和国において、日本と派遣国との友好関係を築き、それぞれの国の魅力を積極的に発信することを目的に実施しました。参加者は、環境保全に関する視察や講義を受けるとともに、現地の日本語学校生徒との学校交流やホームビジットを通じて、互いの文化や暮らしの相違点について理解を深めました。

【参加者】日本の大学生、大学院生 10 名

【訪問地】ドミニカ共和国

2. 日程

■ 事前オリエンテーション（オンライン）

1 月 19 日（木曜日） 【オリエンテーション】派遣前オリエンテーション、本プログラム事前説明
【交流】自己紹介

■ 来日プログラム

2 月 7 日（火曜日） 成田国際空港より出国

2 月 8 日（水曜日） ラス・アメリカス国際空港（サントドミンゴ）よりドミニカ共和国に入国
【オリエンテーション】

2 月 9 日（木曜日） 【表敬訪問】在ドミニカ共和国日本国大使公邸

【表敬訪問】青年省

【表敬訪問】環境省

【視察】国立自然史博物館

2 月 10 日（金曜日） 【視察】アスア市役所

【視察】アスア市ごみ処分場

【視察】アスア市排水路整備計画サイト

【視察】アスア市海岸

【交流】若手日系人との交流夕食会

2 月 11 日（土曜日） 【学校交流】日ドミニカ文化センター

【ホームビジット】現地ホストファミリーとの交流

2 月 12 日（日曜日） 【講義】「ドミニカ共和国における JICA 事業」講師：国際協力機構（JICA）

ドミニカ共和国事務所次長 佐々木 健太氏

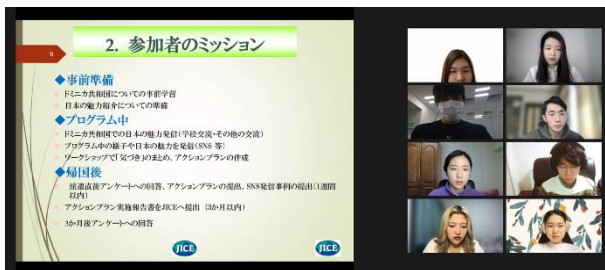
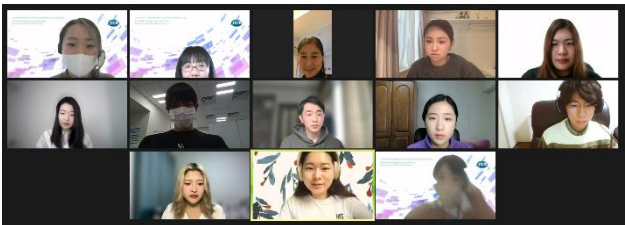
【交流】JICA 海外協力隊員

【ワークショップ】 報告会準備

- 2月13日（月曜日） 【視察】 サンタ・マリア・ラ・メノール大聖堂、ロス・トレス・オホス国立自然洞窟公園
 【視察】 広島東洋カープアカデミー・オブ・ベースボール
 【レセプション・成果報告会】 在ドミニカ共和国日本国大使館
- 2月14日（火曜日） ラス・アメリカス国際空港（サントドミンゴ）より出国
- 2月16日（木曜日） 成田国際空港より帰国
- 2月22日（水曜日） 【帰国後報告会】 【表敬訪問】 駐日ドミニカ共和国大使館（対面とオンラインによるハイブリッド実施）

3. プログラム記録写真

派遣前オリエンテーション

	
1月19日【オリエンテーション】	1月19日【交流】 自己紹介

派遣プログラム

	
2月9日【表敬訪問】 在ドミニカ共和国日本国大使館	2月9日【表敬訪問】 青年省



2月9日【表敬訪問】環境省



2月10日【ODA サイト視察】アスア市役所



2月10日【ODA サイト講義・視察】アスア市排水路整備計画視察



2月10日【交流】若手日系人との交流夕食会



2月11日【学校交流】日ドミニカ文化センター



2月12日【交流】JICA 海外協力隊員



2月13日【視察】広島東洋カープアカデミー・オブ・ベースボール



2月13日【成果報告会】

帰国報告会



2月22日【帰国後報告会】駐日ドミニカ共和国大使館



2月22日【表敬訪問】駐日ドミニカ共和国大使館

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

私は渡航中に日本のバイオ燃料生成技術とその活用方法について発表するため、事前にドミニカ共和国について調べていたつもりでした。しかし、環境省訪問とアスア市のごみ処理施設の視察において、ドミニカ共和国の人々が自国の何に誇りを持ち、また課題と感じているかを新たに知ったことで、日本の支援の在り方について再考する機会になりました。

◆ 大学生

日ドミニカ文化センターの学校交流で、互いのプレゼンテーションの後にバチャータを皆で踊ったのは非常に良い時間でした。プレゼンテーションで互いの国の文化を伝えるだけでなく、実際に体験をさせていただいた点が良かったと思います。また、視察後に関係者の方々とお食事をする事ができたのもとても良かったです。フォーマルな場で終わるのではなく、リラックスできる場でコミュニケーションを取れたことによりドミニカ共和国の文化や国民性をより深く知ることができました。

◆ 大学生

日本語学校で、日本語を学ぶドミニカ共和国の方々と出会い、両国の魅力をアピールし合えたのは本当に良い機会だったと思います。特に、最後にダンス交流をしたのはとても印象的で、ドミニカ共和国が大好きになりました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 学校交流先

素晴らしい交流が実現でき、参加者の皆さんや日ドミニカ文化センター学生達にとって素晴らしい土曜日になりました。

6. 参加者の対外発信、報道記事等

	
2023年2月9日（Instagram） 【表敬訪問】環境省！ ドミニカ共和国の環境をより良くするために様々な工夫や努力をしていることが分かりました。観光業が主な経済資源であるため環境がいかに大事かが伝わりました！ 「カーボン使用を減らして発展することが目標！」	2023年2月9日（Instagram） ドミニカ共和国2日目（2月9日木曜日） ・在ドミニカ共和国日本大使館の表敬訪問 ・青年省表敬訪問 ・環境省表敬訪問 ・国立自然史博物館視察 今日の言葉：パブリック・ディプロマシー、ヒューマニズム・ディプロマシー 今日の気づきと自分の想い： ・青年省を中心とした政治下の青年の力 青年局長の Rafael Feliz García 氏がまだ 26 歳であることに衝撃を受けました。彼はとてもフランクな方で、一緒にランチをしたり、写真を撮ったりしました。ドミニカ共和国では、10 代の若者が、若年ならではの視点から政治活動を始めると聞いて驚きました。若者の政治参加という点では、日本も見習うべきだと思います。

	・自然保護に対する意識の高さ 年間 190 万人がツアーに参加するエコツーリズムのレベルの高さに感心しました。 ・ドミニカ共和国の文化でありシンボルでもあるユニークなダンス！ ホテルの外では、毎晩バチャータやメレンゲなどのダンスミュージックが流れています。バチャータは本当にかっこいいですし、特にバチャータ・デ・フクオカをピアノで演奏してみたいです。 ・絵画の販売 ドミニカ共和国の人たちと絵画との距離が近く、その文化が素敵だと思いました。
	
2023 年 2 月 9 日（Instagram）日本人学生 ドミニカ共和国環境省 ドミニカ共和国には絶滅危惧種がいて、たくさんの自然もあります。それらを守っていかないといいけない。しかし、観光が大きな収入となっているため観光開発も行わなければいけない。今後、観光資源として綺麗な海・森・自然を維持し続けるためにもやはり現状の自然を維持しながら、改善もしていかなければいけない！環境省の政策にはこれらの考え方が根底にあることを深く理解しました。全日程を通して様々な話を	2023 年 2 月 10 日（Instagram）日本人学生 9:00～ アスア市役所講義 技術協力プロジェクトやボランティア活動、アスア市の環境を良くするために行われていることについて伺うことができました。 農産業も有名なアスア市にとって環境がいかに大事か！「どうしたらポイ捨てが減るか...?」 日本人の子どもが学校を自分で掃除する文化について大変興味を持っていただき、教育の大切さについて話し合うことができました。逆に環境教育の方法を学ぶこともできました。

聞いたからこそこの気づきがあったと思います。



2023 年 2 月 10 日 (Instagram)

日系ドミニカ人の方々に会いました！相互の文化を理解すると共に、今後どのように日系人に対する興味関心を広められるかを考えるきっかけとなりました！

2023 年 2 月 11 日 (Instagram)

本当の家族のように迎え入れていただき、短い時間でしたがドミニカ共和国の文化や食事を沢山教えていただきました！



2023 年 2 月 11 日 (Instagram) 参加者広報用アカウント

学生たちとの時間を満喫した後はホームビジットでお世話になるホストファミリーが待つ外へ！

1 人につき 1 家族が割り当てられ、現地の家庭

2023 年 2 月 18 日 (ドミニカ日系人協会 Facebook)

ドミニカ共和国

2 月 10 日、日本政府が推進する「令和 4 年度 Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム」でドミニカ共和国を訪問中の第一陣中米カリブ派

で半日を過ごし現地の生活をより深く理解するために企画されています。このプログラムではドミニカの海を満喫する機会があまりなかったの、多く家庭が首都から近いビーチに連れて行ってくださいました！ 各家庭で食事をしたり、出かけたり、文化や習慣を学ぶとても良い機会になりました。皆様、温かく迎えてくださりありがとうございました！ ホストファミリーとの時間はこのプログラム中でも大切な宝物です。	遣グループ参加者の皆さんと交流する機会がありました。 参加者の皆さんは、ドミニカ共和国政府機関への訪問や、大学生とのディスカッションが盛り込まれたタイトなスケジュールのなか、我々日系人社会を取り巻く現状について理解し意見を交わすため、この日の夜に時間を取ってくれました。 我々からは、日系人協会の最新の活動のほか、ドミニカ共和国社会における日系人のアイデンティティの更なる強化を目指していること等、説明しました。 このような素晴らしい交流の場を調整し、日系人にご配慮くださった日本大使館に心より感謝申し上げます。
 学生が「Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム」でドミニカ共和国の人々と交流 PRESS RELEASE Juntos!! Japan-Latin America and the Caribbean Exchange Program Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム 日本国際協力センターの「Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム」にて、日本の大学生・大学院生計10名がドミニカ共和国を訪問している。 「環境保全」をテーマにした視察・講義やホームビジットを通じて互いの国の社会・経済、文化、歴史などについて理解を深めるとともに、現地の人々との交流を通じて日本の魅力を積極的に発信し、日本とドミニカ共和国との一層の友好関係強化が図られる。 「対日理解促進交流プログラム」で対外発信を強化 「対日理解促進交流プログラム」は、日本政府が推進する国際交流事業で、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣、又はオンライン交流を行う事業だ。 このうち中南米地域を対象とした交流事業が「Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム」。派遣事業では、将来のグローバル人材(大学生・大学院生等)の育成と発展を目的として、同地域に8日間滞在派遣される。 日本と中南米各国との間で、将来のグローバル人材、かつ発信力のある人材を派遣し、中南米地域における政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などに関する対日理解を促進。	 Embassy of the Dominican Republic in Japan Con mucha alegría el embajador Tatara recibió a los jóvenes japoneses que participaron en el Programa Juntos en la República Dominicana que culminó hace unos días. Este grupo de jóvenes valicosos, elegidos dentro de un gran número de personas que aplicaron para este programa, han realizado un informe acerca de su entusiasta experiencia en República Dominicana y sobre los desafíos que perciben para el desarrollo del país. Han vivido una experiencia satisfactoria en República Dominicana y así lo han expresado al Sr. Embajador, quien les animó a continuar en contacto con nuestra cultura, así como a promover con entusiasmo la imagen del país en Japan. 高田大使はJuntos!!のプログラムに参加しドミニカ共和国への訪問を終えた若者達を喜んでお迎えしました。 勇敢でエネルギー溢れる学生が多く、このプログラムに参加しました。 今回はドミニカ共和国へ行った報告を兼ねて、ドミニカ共和国を訪れて学んだ、国をさらに発展させる課題等についても発表がありました。
2023 年 2 月 12 日（トレンドニュースサイト STRAIGHT PRESS） 学生が「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」でドミニカ共和国の人々と交流 日本国際協力センターの「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」にて、日本の大学生・大学院生計 10 名がドミニカ共和国を訪問している。 「環境保全」をテーマにした視察・講義やホームビジットを通じて互いの国の社会・経済、文化、	2023 年 3 月 4 日（駐日ドミニカ共和国大使館 Facebook） 高田大使は Juntos!!のプログラムに参加しドミニカ共和国への訪問を終えた若者達を喜んでお迎えしました。 勇敢でエネルギー溢れる学生が多く、このプログラムに参加しました。 今回はドミニカ共和国へ行った報告を兼ねて、ドミニカ共和国を訪れて学んだ、国をさらに発展させる課題等についても発表がありました。

歴史などについて理解を深めるとともに、現地の方々との交流を通じて日本の魅力を積極的に発信し、日本とドミニカ共和国との一層の友好関係強化が図られる。 (後略)	皆さんドミニカ共和国での経験に満足した様子でそれを見た高田大使は今後も続けてドミニカ共和国の文化や体験した事を発信して欲しい、そして応援して行きたいとお話しされました。
--	---

7. 報告会での成果発表（抜粋）

		
■ プログラムでの学びや気づき ● 青年省訪問：若者の社会参画を促す様々な活動が行われている ● 環境省とアスア市の訪問：ごみ処理問題をはじめとする様々な環境問題が存在するが、環境を守ることが国の基幹産業である観光業と若者の将来を守ることにつながる ● ホームビジット：町の様々な場所を見ることができました。 ● ドミニカ共和国には子供が多いですが、その子供たちが受ける教育にはかなり質の差があり、質の高い教育へのアクセスが平等であるとは言い難い現状も知りました。貧富の差に関わらず受けられる質の高い基礎教育とそれに続く教育の整備と保障がとても重要な課題だと思われます。 ■ 今後の活動について このプログラムでのドミニカ共和国についての学びを帰国後、大学の授業内などで発信して、このプログラムの学びを少しずつ社会に還元していきたいと思います。具体的には、参加者で共同作成した SNS アカウントにおいて、ドミニカ共和国についての情報発信、学生同士の交流会を企画・実施したり、大学での講演を行うなどして、積極的に私たちの学びを発信する予定です。		

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)